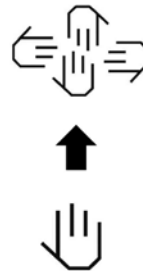


校章デザインのコンセプトなどは、左表の通りです。

<p>コンセプトなど</p>	<p>4つの「手」が重なったデザイン。          手は子ども、大人、様々な国の人々、みんなの背中を押す手。4つの手は統合する4校でもある。手と手をつないで、自分と世界がつながる。自分が世界と出会う。キーカラーは黄色。太陽が輝き、花が咲きほこり、ひろがり、安平の明るい光、みんなの希望となる。希望の花、希望の手。</p>	
----------------	---	---



## 安平町立早来学園

### 教室の名称について

特に令和の時代に入ってから、従来型の「先生が児童・生徒を教え導く」という考え方から「児童・生徒の自主的な学びを先生が支える」という考え方への変化が求められています。

先生方は、この変化に対応するために日々研究を重ね、児童・生徒と向き合っています。早来学園の建物は、この先生方の努力や、積極的に学ぶ姿勢とする児童・生徒を施設の面からサポートします。

そこで、各部屋の名前にこれまででない新しい発想で使っていたアイデアをヒントを入れようと考えました。次の点を大切にしています。

#### 名前の考え方（付け方）

- ・低学年の児童でもわかりやすく覚えるまでに苦労するようでは大変です。

- ・緊急時にもわかりやすく長かったり難しいと、いざという時に困ります。

- ・「教室」という言葉を使わない「教えられる場所」から「学ぶ場所」へ。従来のイメージから抜け出したいと考えました。

これらの考え方を踏まえ、下表のように名前を付けることとしました（次頁へ続く）。

▶ 「室名（メイン名称）／サブテーマ」という形に。  
 例 ～ 「国語室／言葉と想像」

▶ メインとする名称を馴染みのあるものにする事で、わかりにくさや覚えにくさをなくし、各部屋で行われる教科の本質と魅力を捉えることができると考えました。

※早来学園では、7～9年生を中心に、各教科の部屋で授業が行われます。「先生が各教室へ来る」スタイルではありません。